

1. 実施要領

(1) 目的

我孫子市では、これまで子育て支援を中心に若年世代を主なターゲットとした定住促進の取り組みを進めてきたところであるが、東日本大震災以降、一貫して人口減少が続いている。

そのため、我孫子市をよく知っている若年世代の代表として、川村学園女子大学、中央学院大学の学生に、“住み続けるまち”として我孫子市についてどう感じるか、魅力や弱点、他市にアピールすべきポイントなどについて、若者目線で議論してもらい、今後の施策、事業展開の参考とする。

(2) 実施方法

1) 座談会のテーマ

- ①自己紹介
- ②我孫子市のよいところ、悪いところ
- ③将来どんなまちに住みたいか、どんな暮らし方をしたいか
- ④住みたいまちになるために我孫子市に必要なこと
（“こんな我孫子に将来住みたい”我孫子像を提案）

(3) 日時

平成 25 年 7 月 6 日土曜 13 : 00～17 : 00

(4) 会場

中央学院大学 100 周年記念会館 7 階大会議室

(5) 参加メンバー

中央学院大学学生	9 名
川村学園女子大学学生	6 名
中央学院大学 企画課	2 名
川村学園女子大学 学生生活支援室	1 名
株式会社ちばぎん総合研究所	4 名
我孫子市	6 名
合 計	28 名

(6) 班構成

座談会は、1班あたり学生5人の3班構成で実施。それぞれ我孫子市職員、(株)ちばぎん総合研究所の職員がコーディネーターとして参加。

整理番号	チーム	大学名	学部	学年	氏名
1	A	中央学院大学	商学部	2	町田 雄太
2	A	中央学院大学	法学部	3	吉見 のどか
3	A	中央学院大学	法学部	3	鈴木 響一
4	A	川村学園女子大学	教育学部	3	山中 寛子
5	A	川村学園女子大学	人間文化学部	4	河東 亜弓
6	B	中央学院大学	商学部	4	岡本 昂
7	B	中央学院大学	法学部	3	西田 圭亮
8	B	中央学院大学	法学部	4	海老澤 正典
9	B	川村学園女子大学	教育学部	3	福濱 瑛
10	B	川村学園女子大学	生活創造学部	3	南波 沙耶香
11	C	中央学院大学	商学部	3	阿部 颯
12	C	中央学院大学	商学部	3	土佐 祐太郎
13	C	中央学院大学	法学部	4	山田 悠太
14	C	川村学園女子大学	生活創造学部	2	佐々木 麻衣
15	C	川村学園女子大学	人間文化学部	4	水垂 明日香

【学生の属性】

大学・学部・学年	
中央学院大学法学部 4年 2人	川村学園女子大学教育学部 3年 2人
法学部 3年 3人	人間文化学部 4年 2人
商学部 4年 1人	生活創造学部 3年 1人
商学部 3年 2人	生活創造学部 2年 1人
商学部 2年 1人	

性別	
男性	7人
女性	8人

出身地	
我孫子市以外の千葉県	1人
東京都	4人
茨城県	4人
栃木県	2人
埼玉県	1人
宮城県	1人
長野県	1人
大阪府	1人

住所	
市内	3人
我孫子市以外の千葉県	2人
東京都	4人
茨城県	4人
栃木県	1人
埼玉県	1人